

第2回国土交通省 IT 政策検討会 議事概要

日時：平成28年3月25日（金） 15：30～17：00

場所：国土交通省観光庁国際会議室（3号館8階）

出席者：別紙のとおり

【概要】

1. 事務局より、国交省における今後の情報化施策の方向性について説明を行った。
2. 梶浦委員より、情報活用施策の先進的な事例の紹介と、情報活用のための組織論についてのプレゼンテーションを実施した。

質疑応答を行ったところ、発言概要は以下の通り。

<資料及びプレゼンテーションについて>

- オープンデータ化については、情報を活用しつつ大事な情報を守るためにも、省全体で連携体制を構築することが必要。また、何のデータを出して、何を出さないのかといったポリシーが大切。
- 競争関係にある企業間でのオープンデータ化はハードルが高いため、各社のベクトルを同じ向きにする必要があり、協議会等を作ることで共通認識・目標等を醸成することが有効。
- データ活用に向けて国に期待する役割は、データ流通のために標準化を行うこと。消費者にとって有用な情報を流通させるための基盤をつくることが大切。
- セキュリティ対策について、経営層の意識等を改革することが必要。幹部等が危機感を持つことができるように、幹部職員への研修制度を考える必要がある。大手企業では、eラーニングのように、幹部を含めた全職員がいつでも研修を行うことができる体制を取っている。
- 国交省所管業界は中小企業が多い。これらの企業のセキュリティ対策をどうバックアップしていくのが大切であり、例えばセキュリティに関して啓蒙する手段を国交省として検討することも必要。
- 省内の体制についても、民間企業の人材を受け入れ、セキュリティ業務を円滑化させる

ことが大切。

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、宿泊部門のセキュリティ対策が大事。今後、対策のためのガイドライン等を考えていくことが必要ではないか。
- 企業間の情報共有という意味では、セプターカウンシルの役割が大切。セプター間の情報共有が行われることで、他業界におけるサイバー攻撃の動向等をお互い把握することができる。

<今後の予定>

- 次回は5月上旬に開催することとし、日程を調整する。